

## 不破敬一郎先生を悼む

長谷川 哲也 (化学専攻 教授)

**本** 学名誉教授、不破敬一郎先生（化学科）が2017年12月17日にご逝去されました。享年92歳でした。直前までお元気でいらっしゃったそうで、突然の訃報に門下生一同言葉を失っております。

不破先生は1925年（大正14年）8月18日のお生まれで、1948年に東京大学理学部化学科を卒業され、同大学院進学後の1951年に東京大学理学部助手に任じられました。1955年にフルブライト交換留学生として米国アーカンソー大学に留学し、1958年からは米国ハーバード大学医学部研究員（分光部門主任）を務められました。その後、1968年に帰国され、東京大学農学部農芸化学科教授を経て1975年に東京大学理学部化学科教授に着任されました。1986年にご退

官後は、環境庁国立公害研究所副所長、所長を歴任されました。

不破先生は、分光分析化学を中心に先駆的な研究を展開されました。なかでも、ハーバード大学ヴァリー（B.L. Vallery）教授のもとで開発された長光路原子吸光法（Fuwa-Vallery long tube）はたいへん有名で、微量分析法として大きな威力を発揮しました。また、分光分析を通して生物無機化学、環境科学の分野へも大きく貢献されました。不破先生は泰然自若とされていてながら、常にわれわれを暖かく見守ってくださいました。研究に行き詰った学生に「ハッピーですか？」と声をかけるお姿が昨日のこのように思い出されます。心よりご冥福をお祈りいたします。



故・不破 敬一郎 名誉教授

## 阿部 豊先生を悼む

田近 英一 (地球惑星科学専攻 教授)

**本** 研究科准教授、阿部豊先生（地球惑星科学専攻）が2018年1月1日にご逝去されました。享年58歳でした。

阿部先生は、1982年に東京大学理学部地球物理学科をご卒業され、大学院理学系研究科地球物理学専攻で学位を取得された後、名古屋大学助手を経て、1992年に本研究科助教授になられました。

大学院では、それまで独立に議論されていた地球形成論と大気・海洋の起源論を結びつけた画期的な研究をされました。在学中にNature誌に2本の論文が掲載され、「水惑星理論」として世界的に注目を浴びた研究です。この学位論文は、理学系研究科初の「修了期限短縮の特例」として申請され、3年を待たずして博士号が授与されました。

その後も、惑星大気形成・進化や惑星のハビタビリティなどに関する独創的かつ傑出した研究成果を次々と発表し、世界をリードしてこられました。どれも類似研究のない洞察力に満ちたものばかりで、そのオリジナリティとクオリティの高さに、誰もが敬意を抱く存在でした。

阿部先生は、2003年頃から不調を訴えられておりましたが、2005年に筋萎縮性側索硬化症（ALS）と診断されました。しかし先生は、「いま自分にできることをする」と、それまでと何ひとつ変わることなく、最後までご自身の研究と学生の教育に情熱を注がれました。研究者としても一人の人間としても、真に尊敬に値する偉大な方でした。心からご冥福をお祈りいたします。



故・阿部 豊 先生

## 追悼 田中靖郎名誉教授

馬場 彩 (物理学専攻 准教授)

**田** 中靖郎先生は2018年1月18日に86歳で逝去された。1953年に大阪大学理学部物理学科をご卒業後、東京大学原子核研究所助手、名古屋大学理学部助教授を経て、1972年に宇宙科学研究所教授に着任された。

当時黎明期だったX線宇宙物理学の世界で、卓抜な実験物理学者として「ひとりと」「てんま」「あすか」衛星を強力に牽引され、日本グループを世界の中心のひとつに押し上げられた。1994年に宇宙科学研究所をご退官後は、マックス・プランク地球外物理学研究所(MPE)の客員科学者としてドイツに滞在され、2008年まで日本学術振興会ボン研究連絡センター長も務められるなど日本の科学研究の国際化に尽力された。以後も昨夏までMPEで研究を続けられた。これらの功績により、2011年には文化功労者として叙せられている。

田中先生は、私より上の世代の方々には、「田中デモクラシー」の名のもと畏れられていた。皆が議論して民主主義的に決めたつもりが、実は田中先生が議論を巧みに誘導して田中先生の思う着地点に「みんなで」着地していたからだそうだ。しかしわれわれの世代には「業界一ダンディな先生」という印象がとにかく強い。国際学会で気後れして誰とも喋れず落ち込む私に、「君の名前は発音しやすいからきっと有名になれる」とユーモアたっぷりに励ましていただいたのは、もう10年以上昔になってしまった。田中先生に最後にお会いした2017年4月には、「日本の研究者もさらに世界に飛び出していけないといけな」と真剣に語っておられた。日本の基礎科学の将来を憂慮しておられたのだろうか。ご冥福をお祈りするとともに、田中先生の想いに応えるべく一層精進せねばと思う。



故・田中 靖郎 名誉教授

第30回東京大学理学部公開講演会  
「星々が開く理学の扉」開催のお知らせ

広報誌編集委員会

**第**30回となる今回は、宇宙（そら）を眺め、研究に挑み続ける教員が、宇宙の謎についてお話しします。詳しくは理学部HPをご覧ください。皆様のご来場をお待ちしています。

【開催日時】 2018年3月27日（火）14時-17時（開場13時）

【場所】 東京大学本郷キャンパス 安田講堂

【入場】 無料 どなたでもご参加いただけます。

※理学部では、「バリアフリー支援」を行っております。

設備、情報保証などの配慮が必要な場合は、事前に申し出てください。

【講演者】

ビッグバン宇宙国際研究センター キップ・カンノン (K.Cannon) 准教授  
横山 順一 教授 (通訳)

地球惑星科学専攻 関根 康人 准教授  
天文学専攻 戸谷 友則 教授

東京大学理学部 公開講演会

検索

公開講演会ポスター

◆ 編集委員会より退任のご挨拶 ◆

理学部ニュースの編集委員を2年間担当し、編集の裏方について多くのことを学べる貴重な経験になりました。特に、研究内容を分かりやすく分野の異なる読者に解説する重要性を改めて認識しました。また、読者からの意見がとても励みにも参考にもなることもありました。原稿の執筆

をお引き受けくださった方々、編集委員長の横山央明先生および広報室の武田加奈子さんをはじめとする編集委員の皆様にご感謝いたします。理学部ニュースの益々の発展を祈念しております。どうもありがとうございました。

岡林潤（スペクトル化学研究センター 准教授）

理学部ニュース編集委員会には11年間に在籍させていただきました。武田加奈子さん・小野寺正明さん・加藤千恵さんから広報室のみなさんや編集委員の方々に支えられ、なんとかやってこれました。思い出すのは、ノーベル賞・旧1号館などの特集記事や、アイデア出しに苦労した連載企画、デザインの一画などです。なかでも、東日本大震災特集は、その

後にも「広報とは、広報誌とは」という問いかけを私たちに投げかけ、多くを学ばせてくれました。編集の方向性についても委員のみなさんと議論しました。これからは、ひとりの読者として、またきつといち寄稿者として引き続き参加させていただこうと思っています。お世話になりました。

横山 央明（地球惑星科学専攻 准教授）

編集委員・編集長として長く貢献してこられた横山央明さんが、この3月をもって委員を退任されます。それまでの編集スタイルを守りつつ、巧みな取りまとめによって新

た企画を立ち上げるなど、さらなる紙面の充実を進めてこられました。今後とも、ご指導を頂けると幸いです。

安東 正樹（物理学専攻 准教授）

博士学位取得者一覧

（※）は原題が英語（和訳した題名を掲載）

種別	専攻	取得者名	論文題名
2017年12月11日付（2名）			
課程	物理	張 昊	ハニカム反強磁性体における量子無秩序相（※）
課程	生科	餘家 博	ウニ精子鞭毛の振動運動を誘起するダイニンの外力に依存した活性制御（※）
2017年12月29日付（1名）			
課程	地惑	関 有沙	XRFコアスキャナーを用いた日本海第四紀の堆積物中の海洋起源有機物量と底層の酸化還元状態の復元（※）
2018年1月31日付（2名）			
課程	化学	小宮 麻希	二分割蛍光タンパク質の再構成に基づくSUMO化タンパク質同定のためのスクリーニング法（※）
課程	生科	張 國鳴	メダカ胚におけるDNA methylationの配列依存性の研究（※）

人事異動報告

異動年月日	所属	職名	氏名	異動事項	備考
2017.12.13	地惑	客員教授 (GSGC)	WILLIAMS ROBERT MICHAEL	任期満了退職	
2017.12.31	物理	講師	中澤 知洋	退職	名古屋大学素粒子宇宙起源研究機構現象解析研究センター准教授へ
2017.12.31	化学	特任助教	高野 慎二郎	退職	化学専攻助教へ
2018.1.1	物理	助教	吉川 尚孝	採用	
2018.1.1	地惑	助教	大平 豊	採用	青山学院大学理工学部助教から
2018.1.1	地惑	助教	佐藤 雅彦	採用	産業技術総合研究所研究員から
2018.1.1	化学	助教	高野 慎二郎	採用	化学専攻特任助教から
2018.1.1	化学	特任助教	片山 司	採用	東京工業大学科学技術創成研究院研究員から
2018.1.1	生科	特任助教	長谷川 恵理	転出	ニューロインテリジェンス国際研究機構特任助教へ
2018.1.31	化学	特任助教	中井 克典	退職	
2018.2.1	天文	客員教授 (GSGC)	TOKUNAGA ALAN TAKASHI	採用	
2018.2.1	地惑	准教授	對比地 孝亘	昇任	講師から
2018.2.1	原子核	助教	長濱 弘季	採用	
2018.2.1	生科	特任助教	金 尚宏	採用	
2018.2.15	物理	助教	阿部 喬	任期満了退職	原子核科学研究センター特任助教へ
2018.2.16	原子核	特任助教	阿部 喬	採用	物理学専攻助教から